

生まれ変わる常陸大宮駅周辺のPRキャラクターの提案

No. 10 太田心来

カワセミぼうや



rough sketch



image_1



image_2



工事看板

image_3



どら焼き

image_4



遊具注意ステッカー

STORY

常陸大宮市に住んでいる優しい5歳の男の子。相棒のカワセミの頭巾は、カワセミに憧れているぼうやのために、お母さんが手作りしてくれたもの。常陸大宮市のお散歩とアユの塩焼きが大好きで、いつも相棒と一緒に散歩をしながら街の人のお手伝いやおしゃべりをして街を明るく笑顔にさせる存在。

POINT

駅西口の広場では、子どもがのびのびと遊び、駅東口の交通面では安心安全に過ごすことができるように、地域全体で子どもたちを見守り育み、子どもたちとは一緒に成長して欲しいという願いを込めて、丸くて可愛い子どもと常陸大宮市の鳥であるカワセミをモチーフに制作したキャラクター。

KEYWORD

- ・子ども
- ・カワセミ
- ・回遊性

生まれ変わる常陸大宮駅周辺のPRキャラクターの提案

No. 29 関谷友那



みやおじさん



STORY

常陸大宮市生まれの「みやおじさん」。皆からは「みやおじ」と呼ばれている。愛してやまない常陸大宮市を活性化させるため通常は、駅員の仕事をしているが、イベントがある日には仮装をしてイベントを盛り上げようとしている。みやおじは地域の小さい子供からお年寄りまで皆から親しまれる人気者だ。

POINT

子供からも親しまれるように全体的に丸いフォルムにした。常陸大宮市のPRになるように駅員の制服は実際のJR東日本の制服をモチーフにしている。常陸大宮市が5つの町村が合併してできていることから各々の町村にあったキャラクターを制作し、おじさん感が出るように服装や髪形などを工夫した。

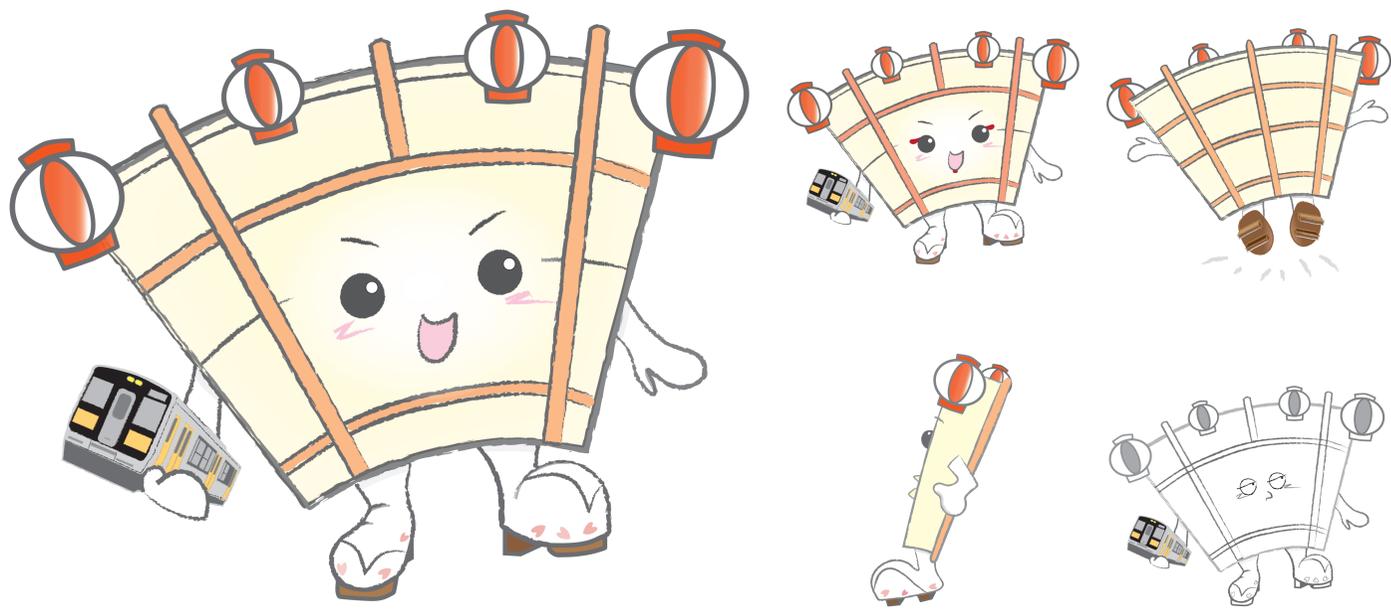
KEYWORD

- ・ 地域のおじさん
- ・ 観光名所
- ・ 皆から愛される

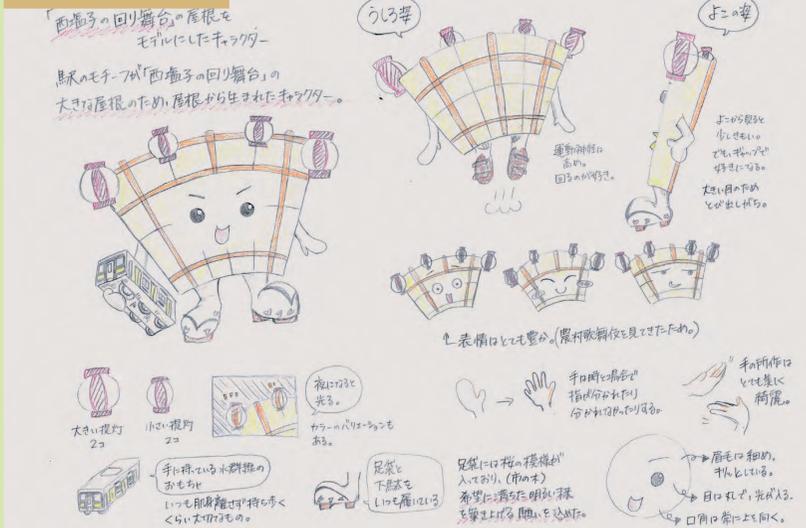
生まれ変わる常陸大宮駅周辺のPRキャラクターの提案

No. 35 田山遥夏

まわりん



rough sketch



image_1



image_2



image_3



image_4



STORY

西塩子の回り舞台の屋根から生まれた妖怪。
駅モチーフになると知り、人前に姿を現すようになった。生まれた時から農村歌舞伎を見るのも演じるのも好き。人と関わる様になった事で舞台に出たいと思うようになり、チームを作ったという噂がある。

POINT

モチーフが屋根のため、扇状のフォルムにして、足袋と下駄を履かせ、歌舞伎の要素もさりげなく加えたところがポイント。
足袋に描かれている桜は、希望に満ちた明るい未来を築き上げるといった願いが込められた、市の木がモチーフになっている。

KEYWORD

- ・西塩子の回り舞台
- ・農村歌舞伎
- ・妖怪

